

紫峰の風

shihou no kaze



筑波大学
University of Tsukuba

第10号 2018年12月

「紫峰の風」は学生生活の様子や活動の報告を紫峰会基金協力者の皆様にお届けする広報誌で、紙面の企画や記事の取材等は学生広報会議や広報部会の学生が実施しています。この名称には「筑波の峰から吹き降りる風に、我々の活動への想いを乗せて、全国の皆さまのもとへとお届けする」という意味が込められております。



雙峰祭開催!!

写真左上から：鳥人間の会による焼き鳥の模擬店、ライブペイント
第二エリア会場のにぎわい、後夜祭での斬桐舞のパフォーマンス

学園祭を終えて

第44回筑波大学園祭「雙峰祭」は11月2日から11月4日の3日間開催され、大成功のうちに終わりました。残念ながら3日目の午後雨に降ってしまったもの、おおむね天候にも恵まれ、おおよそ33,000人もの来場者で活況を呈しました。皆様にとって「#つくばえ」になる思い出が残れば、私たち学園祭実行委員会にとってこれほどうれしいことはありません。私は委員長として1年間雙峰祭の準備に尽力してまいりましたが、来場者が雙峰祭を楽しんでいる様

子を見て非常に達成感を感じました。
この度、雙峰祭の開催に際して筑波大学紫峰会基金より、助成金100万円を支援していただきました。本年度の雙峰祭をかつてないものに作り上げるために、雙峰祭の運営資金としてこの援助金を使わせていただきました。誠にありがとうございました。
(寄稿/平成30年度筑波大学学園祭実行委員会委員長 石川真智・物理2年)

—内容—

就職活動を終えて、学生相談室から、 桐の葉日記	1頁
キャンパスニュース	1、2頁
特別援助金報告、留学報告、 平成30年度就職ガイダンス等日程表、Editors'2018	2頁
特集：学生プレゼン企画「つくば」	3頁
芸サ連、文サ連、全代会 体育会活動紹介、学生の1週間	3、4頁

今後の主な予定(変更になる場合があります)

秋ABモジュール期末試験	12月17、20～26日
冬季休業	12月27日～1月6日
同(東京キャンパス・夜間)	12月23日～1月7日
秋ABCモジュール期末試験	2月4、8～14日
同(東京キャンパス・夜間)	1月29～31日、2月8、16日
期末試験予備日	2月15日
同(東京キャンパス・夜間)	2月5～7日
春季休業	2月16日～
同(東京キャンパス・夜間)	2月17日～
卒業式・大学院学位記授与式	3月25日
同(東京キャンパス・夜間)	3月30日

キャンパスニュース



自作した生物の標本等の展示・販売

書道部の書展

海洋研究会によるミノカサゴの展示

後夜祭での
「IMAGINE THE FUTURE～未来を想え～」の合唱

前夜祭の
TSUKUBA COLLECTIONでの
パフォーマンス

第二エリアの階段アート

つくばメディアアートフェスティバル2018

7月28日から8月5日にかけて、茨城県つくば美術館にて「つくばメディアアートフェスティバル2018」が開催された。筑波大学の芸術系や情報系の学生や教員の作品を中心に、筑波大学出身アーティストの作品なども含め、17作品が展示されました。

写真の作品は、筑波大学の学生・教員と企業が共同で作成した「heartbeat」という体験型作品です。心拍数を測定する腕時計型のウェアラブルデバイスを付け、体を動かしたり、リラックスしたりして、指定された心拍数になるように調整するゲームです。

本イベントは今回の開催で4回目を迎えました。今後は隔年の開催が決定しているため、次回の開催は2020年となります。芸術系を持つ総合大学の特徴を生かしたイベントで、今後の発展が楽しみです。

(取材/広報部会 黒川真臣・生命環境3年)



「heartbeat」を体験する来場者

盆LIVE2018

9月22日に「盆LIVE2018」がつくば市の研究学園駅前公園にて開催されました。盆LIVEは盆踊りと古今東西の音楽を合わせたお祭りです、今回で4回目を迎えました。

T-ACT推進室の支援を受けながら準備を進め、当日は約1,200名の方にご来場頂きました。7月に中止になってしまったトワイライト音楽祭の出演者による演奏から始まり、つくばお笑い集団DONPAPA・吉瀬三日月囃子保存会・Rio de 半仁門・筑波大生有志2人によるパフォーマンス披露、6つの店舗による軽食販売が祭りを盛り上げました。そして伝統的な盆踊りとJ-POPや洋楽と合わせたものや、オリジナル振り付けの盆踊りを小さなお子様を始めとするたくさんの方に踊っていただくことが出来ました。

雨天が心配されましたが無事開催することが出来ました。ご協力くださった方、ご来場下さった皆様様に御礼申し上げます。

(寄稿/盆LIVE2018実行委員会代表 小田島実結・比文3年)



やぐらを囲んで踊る来場者

就職活動を終えて

数理物質科学研究科 物性・分子工学専攻

2年 大川泰斗

所属サークル

筑波大学文芸部・天文研究会

職種

化学メーカー・総合職

就職活動期間

3月～6月

就職先を決めた判断材料

事業内容、勤務地、福利厚生

就職活動中に心がけていたこと

面接で緊張しないように心がけていました。私は緊張しがちなので面接で普段の自分を出せるように、面接での質問を想定したり説明会でまとめたノートなどを読み返したりするようになっていました。また、人事の方の雰囲気を見てあえて「緊張しがちなので」と面接の中で伝えたこともありました。

大学生活で就職活動中役に立ったこと

サークルでの経験です。エントリーシートでは大学での勉強や自身の研究内容をまとめるというような設問の他に「他の人たちと協力して得られた経験」や「自分が成長できたと思う経験」といったことを訊かれることが多くありました。こうした設問に、サークルのような課外活動の要素を書くことができるようにしておくエントリーシートやその先の面接において役に立つ場面が多かったです。

就職活動で失敗したこと

受けた企業の業界が偏ってしまったことです。私は自身の興味から食品業界と化学業界を志望していましたが、特に中でも食品業界の企業の採用試験を多く受けていました。しかし食品は人気

な業界であり、私は思う様な結果を得ることができませんでした。就職活動では受けることができる企業の数は限られています。不合格となったこともあると思いますが、今となって振り返ってみれば食品業界だけではなく、化学や他の業界の企業にも興味を持ち調べることがあってもよかったかなと考えたこともありました。

就職活動で学んだこと

就職活動や内定は縁や運といったものも多く影響するということを学びました。私は冬にインターンシップに参加し、その縁でリクルーターをつけていただいた企業がありました。私自身もこの企業で来年から働くだろうとイメージしていたのですが、結局この企業は最終面接で不合格となりました。一方で、入社を決めた企業は逆求人型の就活サイトでお話をいただいた企業でした。「この企業に行きたい!」と強く思いながら就職活動をし内々定を得ることも、リクルーターやスカウトをいただいて入社を決めることも、こうした縁や運の巡り合わせなのだと思います。

何社受けて何社受かったか

22社受けて2社です

後輩に一言

就職活動は油断大敵です。エントリーシートの誤字脱字や時間の約束、面接での身だしなみなど、当たり前のことを当たり前でできる人を企業は求めているのだと思います。油断をせずにそうしたことをきちっと守っていけば、その先に良い結果が待っています。

保護者に伝えたいこと

感謝を伝えたいです。筑波大学の学生はその多くが一人暮らしをしながら就職活動をするようになります。そうした中でたまに帰省した時の相談や他愛もない会話、電話やSNSでのやり取りに私はとても助けられました。自分が内定を得ることができたのも両親のそういった助けがあったからだと思っています。

数理物質科学研究科 物理学専攻

2年 宮崎 純

所属サークル

なし

職種

電子部品研究(光学)

就職活動期間

2月～6月

就職先を決めた判断材料

給与、仕事内容

就職活動中に心がけていたこと

他人と比較をしないこと。就職活動で大事なことは何かを、先輩やすでに社会人の友達に、変わったところでは不動産会社の社員の方や床屋のおちゃんに聞いたところ、他人と比較しないことが大事だと言われました。実際、就職活動中は他人のことがとても気になってしまいがちになると思います。集団面接のとき隣の人がとても優秀そうに見えたり、友達が先に内々定をとったり、さらにはそこが自分も志望するところだったりと事あるごとに自分と比較して不安になってしまいます。さらには、不安になるだけではなく自分が本当にしたいコトなど自分を見失ってしまいます。なので就活をする際には是非自分は自分ということを忘れず行ってほしいです。

大学生活で就職活動中に役に立ったこと

就職活動中にはよく『大人数で何か成し遂げたことはありますか？ またあなたの役割は?』というような質問がありました。私は大学説明会に所属していたことがあり、その際のエピソードを話すことができ、チームで働くことができるというアピールをすることができました。

就職活動で失敗したこと

早く就職活動を始めなかったこと。特に長期のインターンシップに行かなかったこと。短期のインターンシップはいくつか参加したのですが、就職に有利に働くことが少なくそこで得られたものもほとんどありませんでした。長期のインターンシップに参加し、そこで良い成績を上げた私の同期は3月に内々定をもらうことができていました。早い段階から余裕をもって就職活動を始めれば、と何度も後悔してました。

就職活動で学んだこと

私は様々な分野の企業を受けました。そのため色々な分野でどのような知識が必要か、どのような職種があるか、どのように考えて働いているかを学べました。説明会に行くだけでもその分野について多くのことを知ることができて面白いです。

また違ったことでは、『兵は拙速を尊ぶ』ということを学べました。説明会や工場見学などの際に、予約を行うのですが、大手企業ではすぐに満席になってしまい行けなかったことが何度もありました。さらに就活自体を早めに始めた人は満足いく結果に終わった人が多かったです。

何社受けて何社受かったか

29社受けて3社受かり8社は途中で辞退しました。

後輩に一言

就活は早めに取り組んだ方がいいです。

保護者に伝えたいこと

今までたくさんの迷惑をかけてきました。無事社会人への道が踏み出せそうです。これからも迷惑をかけるかもしれませんが、自立した立派な人間へ成長する姿を見ていてほしいです。

学生相談室から

受付窓口 029-853-2415
電話相談 029-853-2406

保健管理センター改革と学生相談室

人間系 杉江 征

開学以来、筑波大学の学生相談室は保健管理センター内に設置されていました。しかし、来年1月からの保健管理センター有料化に伴い、学生相談室は来年の4月から保健管理センターから離れ、新しく組織化される予定です。学生相談室はこれまで通り無料でご利用いただけます。ただ、新しく開室する学生相談室の場所は、まだ整備されていないため、当面の間は、現在の保健管理センター内でこれまで通り相談活動を行う予定です。(保健管理センターの有料化に関する情報は、保健管理センターのホームページをご参照ください。http://www.hokekan.tsukuba.ac.jp/)

学生相談室は、これまで、保健管理センターという医療機関の中にありましたので、どちらかというメンタルヘルス上の問題を抱えた時に利用するところというイメージが強かったのではと思います。しかし、実際には、メンタルヘルス上の問題以外にも、修学に関することや進路、対人関係、サークルやアルバイト、自分自身のことや家族のことなど、学生生活全般に関するご相談もお受

けいたしております。今回の改革は、医療機関としての保健管理センターから分離することによって、「学生の相談機関」である学生相談室の「見える化」を図って、学生のみなさんが相談しやすい環境を整えようとするものです。また、これまで学生相談室のカウンセラーが学内の各所で行っていた相談活動(総合相談窓口、学生相談室、ピア・サポート)を一つの組織として統合し、それぞれの機能を強化することによって、全学的なメンタルヘルス・学生支援体制の強化・充実を図るものでもあります。

組織や場所が変わっても、これまで通り学生相談室は、学生の皆さんが、生き生きと学生生活を送れるように、あるいは、充実した学生生活を送れるように応援していきたいと考えております。保護者のみなさまからのご相談もお受けいたしております。ご心配なことがございましたら、総合相談窓口までご連絡いただければと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

総合相談窓口

スチューデントプラザ：029-853-8430

春日エリア：029-859-1207

なお、開室時間などは大学のホームページの「キャンパスライフ」に掲載されています。

桐の葉日記

年の瀬もいよいよ押し詰まり、2018年も残すところあと少しとなりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。寒い日が続いておりますので、ぜひ体調管理には十分にお気を付けください。

ところで今上天皇のご意向で来年には改元が予定されているため、2018年だけでなく「平成」の時代も残すところあと少しなわけであります。自分が生まれたときの元号から次の新しい元号に変わるというのは、時代の移り変わりをなんとも強く感じさせてくれます。自分の前の時代、前の世代の方々の時代遅れを責めつつも、新しい時代、新しい世代に移り変わっていくこの流れに今一つ乗り切れないことも増えてきており、自分もすぐに「前の時代の人」になってしまうんだなと感じる日々です。

平成の時代を振り返ると、ベルリンの壁崩壊やバブル最盛期という前向きな出来事から始まった一方、世界では同時多発テロから続く対テロ戦争に世界金融危機、日本では失われた10年を含む不景気、度重なる大震災、就職問題、外交問題と世界中が先行きを不安に感じた時代だったのではないのでしょうか。

ただ、日本に関して言えば最後まで戦争をしなかった時代で

もあるわけです。「平成」という元号は「史記」「書経」にある四字熟語に由来しており「国の内外、天地とも平和が達成される」という意味が込められてるといいます。歴史的に見ても、平和を維持するというのは難しいものです。そして何より平和な時代は今上天皇の悲願でもあったのではないかと思います。

普段は平和であることのありがたみなどを考えることはなく、日常生活の中の小さなことに一喜一憂して生きていますが、たまにはこうして時代を長い目で見て、平和な時代を生きる幸せを噛みしめるというのもまた大切なことなのか、などと空調の効いた部屋でぬくぬくとぼんやり考えている大学2年の冬でございます。

(文責：全代会広報委員長 十川澄・資源2年)

キャンパスニュース



学位記を受け取る卒業生と笑顔で手渡す学長



学長の式辞

平成30年度卒業式・学位記授与式(9月期)

9月25日、多くの筑波大生が残りわずかの夏季休業を過ごしていた頃、大学会館ホールでは平成30年度卒業式・学位記授与式(9月期)が挙行された。この時期に行われる卒業式の出席者は海外からの留学生が多い。会場となった大学会館ホールは卒業生やその家族で満席となった。スーツや袴を着た卒業生に加え、世界各国の民族衣装を着た出席者も見られ会場内には華やかな雰囲気が漂っていた。式ではそれぞれの学群や研究科を代表する学生が登壇し、学位記を受け取った。永田恭介学長は式辞で卒業生に向けて「筑波大学で学んだことを活かして世界で活躍してほしい」というメッセージを英語で贈った。

式の最中、卒業生は皆晴れ晴れとした表情でこれからの生活に期待を膨らませているように見えた。在学生が新学期の準備を始める中、筑波大学の卒業生達が一足先に新たな社会へと歩んでいった。(取材/芸サ連広報局長 川村風太・生物3年)

平成30年度秋学期入学式

9月28日、筑波大学大学会館にて平成30年度秋学期入学式が行われた。式には実に様々な国の出身の学生が出席していた。国際色豊かな式に合わせて、初めに行われた永田学長からの英語での式辞では「現代のグローバルな社会問題や環境問題について言及しながら、大学では研究する力すなわち、深く考え事実や真理を明らかにする力を身に付け、世界的に起こっている問題に立ち向かえる時代の先駆者になってほしい」との激励の言葉が述べられた。

式の終わりには、学生4名による筑波大学のメッセージソング「IMAGINE THE FUTURE ~未来を想え」の合唱、それから応援部WINSによるパフォーマンスが行われた。そして、会場内はあたたかい拍手に包まれながら式は終了した。

(取材/広報部会 黒川真臣・生命環境3年)

特別援助金報告 ~世界ジュニアオリエンテーリング選手権大会に参加して~

オリエンテーリングという競技を、皆様ご存知でしょうか。山の中、時には街の中を地図を片手に駆けるスポーツです。小学校の頃の林間学校で行った経験を思い出す方も多いと思いますが、競技スポーツは一人で行い、そのタイムを競います。筑波大学体育会オリエンテーリング部は非常に歴史が深くかつ実力のある団体で、今年で創立44年を迎えます。今年度、我が部は3つの世界の舞台に部員を送り出すことが出来ました。世界ジュニアオリエンテーリング大会(20歳以下の世界選手権)、世界大学オリエンテーリング大会(大学生の世界選手権)、世界オリエンテーリング大会(全年齢対象)の3つです。このすべての年齢に対応した世界選手権に選手を送り出す大学団体は筑波大学のみであり、層の厚さを日本に示すことができました。筆者は上記の大会のうち1つ目の、世界ジュニアオリエンテーリング大会に出場してきました。今回、世界ジュニアオリエンテーリング大会は7月8日から14日にハンガリーで開催され、

世界から36か国、331名の選手が集まりました。7日間で4種目5レースが行われ、筆者も5レース全てに出場しました。ハンガリーは日本のような森ではなく砂漠のような砂地でオリエンテーリングを行うため、日本との違いに慣れるのに苦労しました。そういった状況の中でも、適度な緊張のもとで自分のできる限りの走りをしようと心がけました。地図を読み切れておらず多少のミスはありましたが、後悔はしない走りができたと思います。このように世界の舞台で戦うことが出来たのも、筑波大学紫峰会基金の特別援助金を利用し、資金面の支援をいただけたことが大きいです。同基金及びその関係者の皆様にこの場を借りて、選手一同感謝を申し上げます。もしオリエンテーリングに興味の湧いた方がいらっしゃいましたら、1月27日に日立市にて大会を開催いたしますので是非お立ち寄りください!(寄稿/オリエンテーリング部 宮本和奏・地球2年)

援助対象	オリエンテーリング部
特別援助金区分	海外遠征A
援助金額	159,000円



世界ジュニア選手権大会競技中



世界ジュニア選手権大会日本選手団

平成30年度 就職ガイダンス等日程表 (秋以降実施)

学生部就職課

主に平成32年3月卒業・修了予定の学生向けに下記の通りガイダンス、講座を開催します。日時、内容等に変更が生じる場合がありますので必ず「学生部就職課 ホームページ <http://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/>」にてご確認ください。

●就職支援プログラム(企業・団体)

◆就職ガイダンス		
日時	会場	実施内容
30.12.5(水) 15:15~18:00	1H棟101	就職活動準備講座 ④ 面接・グループディスカッション対策
30.12.12(水) 15:15~18:00	1H棟101	// ⑤ 就活のためのマナー・メイク講座
30.11月~31.2月 1回1.5時間 週2~3回程度	就職課会議室	就職活動準備実践対策 ① エントリーシート対策 (事前予約制)
		// ② グループディスカッション対策 (//)
		// ③ 集団・個人面接対策 (//)
◆学内企業説明会		
日時	会場	実施内容
31.3.4(月)~3.15(金) ※3.1(金)事前準備セミナー実施 12:30~17:15 5ターム制	大学会館	各企業の人事担当者やOB・OGが来学し、ブースごとに企業概要の説明や質問等に応じてくれます。参加企業については、随時就職課ホームページでお知らせします。(計690社 1日あたり69社出展予定)

●就職支援プログラム(教員)

◆教員採用試験説明会		
日時	実施内容	講師
31.1.21(月)午前	東京都立学校教員採用試験説明会	東京都教育委員会
31.1.21(月)午前	茨城県立学校教員採用試験説明会	茨城県教育委員会
31.1.21(月)午前	埼玉県立学校教員採用試験説明会	埼玉県教育委員会
31.1.21(月)午前	新潟県立学校教員採用試験説明会	新潟県若菜会

◆教員採用試験対策講座(事前申込制)		
日時	実施内容	講師
30.11.14(水)	教員採用試験合格座談会	在学生
31.2.19(火)	基礎復習	筑波大学OB

◆教員採用試験対策講座 論文文対策(事前申込制)			
日時	講座	実施内容	講師
30.12.12(水) 13:45~16:30	第3回	合格論文の書き方	筑波大学OB
31.2.21(木) 13:45~16:30	第4回		
31.3.14(木) 13:45~16:30	第5回		

◆教員採用試験対策講座 人物試験対策(事前申込制)			
日時	講座	実施内容	講師
31.1.16(水) 13:45~16:30	第3回	志願書、自己PR	筑波大学OB
31.1.21(月) 13:00~17:15	第4回	集中演習(面接、場面指導)	
31.2.6(水) 13:45~16:30	第5回	個人面接・集団面接	
31.2.27(水) 13:45~16:30	第6回	場面指導	
31.3.5(火) 13:45~14:45	第7回	予備校による面接アドバイス	東京アカデミー

◆教員採用試験模擬試験(事前申込制)		
日時	実施内容	講師
31.1.30(水)	第1回	【全国型】①
31.2.28(木)	第2回	【全国型】②
31.3.18(月)	第3回	【東京都型】【茨城県型】【神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市型】【埼玉県・さいたま市型】【千葉県・千葉市型】
31.4.24(水)	第4回	【全国型】③

●就職支援プログラム(公務員)

◆公務員試験関係		
日時	実施内容	講師
30.12.5(水)	公務員内定者座談会	在学生

●キャリア形成支援プログラム

◆OB・OG座談会 2018冬期		
日時	会場	実施内容
30.12.1(土) 13:30~17:00	大学会館 特別会議室	就職活動で有効なOB・OG訪問が大学内でできます。本学卒業生や東京地区の社会人大学生が就職活動での質問等に応じます。 【定員100名、先着順で事前登録制となります。※本イベントは全学生対象のイベントです。】

キャリア・就職相談窓口のご案内

DACセンター/就職課では、経験豊富なキャリアカウンセラーが個別に相談に乗っています。就職活動は元より、進路全般に関するアドバイスや情報提供を行っています。学年は問いませんのでお気軽に就職課をご利用下さい。尚、個別相談は事前に予約が必要です。基本の相談時間は下記の通りですが、別にご希望がある場合は予約時にご相談ください。

[8月下旬~2月末]

①9:40~ ②11:00~ ③13:30~ ④14:45~ ⑤16:00~

[3月上旬~8月下旬]

①9:40~ ②10:30~ ③11:20~ ④13:30~ ⑤14:20~
⑥15:20~ ⑦16:10~

※1回の相談時間は40分程度になります。[時期・時間は諸事情により変動します]

○相談の申し込み・お問い合わせは・・・

学生部就職課(第一エリア1D スチューデントプラザ内)
予約電話:029-853-8444 (受付時間 平日8:30~12:15 13:15~17:15)

筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター DACセンター/学生部就職課

<http://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/>

「企業人事から見たイメージがよい大学」

総合ランキング 筑波大学 第1位

順位	大学名	総合得点
①	筑波大学	32.36
②	京都大学	32.26
③	東京農工大学	32.07
④	大阪大学	31.99
⑤	東京外国語大学	31.80
⑥	横浜国立大学	31.56
⑦	九州大学	31.48
⑧	早稲田大学	31.37
⑨	慶應義塾大学	31.26
⑩	名古屋大学	31.24

※日経 HR 「価値ある大学 2019 年度版」より

留学報告



情報学群知識情報・図書館学類 2年 須賀光紀

私は、夏休み中に(9月2日から9月29日)、平成30年度セブ島短期英語研修プログラムを利用して、フィリピン共和国のセブ島に行っていました。留学の目的は第一に、英語でコミュニケーションすることに抵抗をなくすことでした。日本に戻ってきたときに積極的に海外の人と会話ができるようになりたいと思い、このプログラムに参加いたしました。現地の語学学校(Cebu Pelis Institute)では平日毎日七時限の授業を受けることで、日本では気づけなかった英語についての知識や、会話をする上で大事になる発音等を改めて学びなおすことができました。四時限分の個別レッスンでは、TOEIC対策問題を解いたり、英語文法を英語のまま理解するレッスンをしたことで、日本で学習していた時にあやふやだった文法知識を定着させることができました。三時限分の少人数レッスンでは主に会話が中心で、英語のテキストに書いてある題材について自分の意見を述べることや、英語のゲームをしながら身の回りの単語を覚えつつ、会話表現を学習しました。平日の勉強時間にみっちり勉強した後は週末です。週末は、語学学校でできた友人とセブ・マクタン島の観光をしました。私自身、海外渡航が生まれて初めてということもあり、渡航前から日本ではない異文化に積極的に触れ

たいと考えていました。市内を移動するタクシーの中で、運転手の人と会話したり、現地の店の人と会話することで、実際に会話することへの抵抗感はなくなったと思います。恥ずかしながら、今回の語学学習で完璧に、ペラペラと英語を話せるようになったというわけではありません。しかし帰国後、居住しているグローバルビレッジで、新しく入ってきたルームメイトと話してみた時、以前よりも抵抗なく喋れるようになっていた実感はありました。英語で発言することに対する自信は留学以前よりも得られたと思っています。留学で得た経験を無駄にしないように、目的意識を忘れずに、これからも英語で積極的に会話をしていく所存です。



セブ島モールポールの海

生命環境学群生物学類

3年 佐々木寛明

2018年2月から7月までロシア連邦のサンクトペテルブルクという場所に留学しました。留学先はサンクトペテルブルク国立大学で、約半年間ロシア語を勉強しました。

ロシアは国名こそよく知られており、中国や朝鮮半島より日本から最も近い国ですが、きっと多くの人にとって存在の遠い国だと思います。大学に入学する前からそんなロシアは一体どんな場所なのだろうかと興味を持ち、大学に入学後はロシア語ができればよいなと漠然とした希望を持っていました。入学後、筑波大学にはロシア語を勉強できる環境があり、旧ソ連諸国の大学との多くの提携や、留学向けの手厚い支援もあり、ロシア語圏に留学しやすい環境です。また、せっかく学ぶからには最低でも日常生活で使える程度までに語学力を高めたかったです。そして、日本では分からないロシアを見たいと思いました。自分の専門とは関係ないものの、そういった理由で留学することを決意しました。

まず、私は「大学の世界展開力強化事業 ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム」という筑波大学のプログラムに応募し、そのプログラムの海外研修(10日間ほど)、語学研修(約1か月間)に応募して2度ロシアに渡航し、最終段階として約半年間留学する運びとなりました。

留学をして良かったことの1つはロシアの風俗がよく見えたことです。食生活、立ち振舞、宗教観など、どれも日本では知ることのないものばかりで興味深かったです。例えば、日本においてロシア人は仏頂面でぶっさらばうだという「良くない」心象があります。確かに食品店の店員や切符売場の従業員にありがちな態度と言えるでしょう。しかし、それは日本人の価値観から見た一側面にしか過ぎないです。実のところは単にロシアにおいて作り笑顔に良い意味がないとされているからです。つまり慣習の違いです。

また、私は広大なロシアでの移動手段に鉄道を使うことを好みま

した。それはロシアの鉄道による長距離移動は必ずと言っていいほど寝台列車による移動となり、つまりロシア人と寝食をともにすることに、他の交通手段に比べて圧倒的に意思疎通をする時間も回数も増えるからです。しかも、学生にとってありがたいことに空の移動より安上がりです。せっかく留学しているのに使わない手はなかったのです。ロシア語ができないと難しいかもしれませんが、会話がきっかけでお互いの国について突っ込んだ話もしました。その上、車内の食事に誘われたことは今となっては非常に良い思い出です(ロシアでの鉄道旅は自前で食事を調達するのが一般的で、毎回食事に誘われました)。そして、そういった時には笑顔があります。こうした交流を重ねて、異文化交流の何たるかを学ぶことができました。相手とうまく意思疎通を図るにはどうしたら良いかなど、その他にも留学で培われたものは多いです。こういった機会に恵まれたことに感謝するとともに、それを将来必ず活かしたいと思えた留学体験でした。



サンクトペテルブルクにある寮の目の前に広がる凍ったフィンランド湾にて

Editors' 2018

1年間、三系と全代会から集まった学生たちが、学内をはじめ各地を走り回ってたくさんのお話を取材し、皆様に提供してくれました。その1年間の感想を書いてもらいました。

▶「紫峰の風」の編集に1年間携わらせていただき、筑波大学に存在するさまざまな団体の活躍を知ることができました。普段は自分の身の回り以外の団体とはあまり接触する機会がなかったのですが、多くの団体の活動や実績を編集者・記者の目線で見つめることで、それまで知らなかった魅力を発見することができました。また、回収した原稿の編集にあたってお世話になった広報部会の方々と交流でき、充実した1年間だったと思います。ありがとうございました。(体育会医学部会広報局長 徳永光太郎・医学2年)



左から山岸、安齋、川村、舟久保

▶約1年間携わらせてもらった紫峰の風の編集作業は、普段では経験しないようなことにたくさん関わることができました。スポーツ・デー等の行事や大学生活を支えてくださる人々に取材をすることはとても貴重な体験になりました。保護者の方に少しでも私たちの生活や環境について知っていただく機会になれば幸いです。周りの方々には迷惑をおかけしましたが、その分成長できたことでもあります。ありがとうございました。(文サ連広報局長 山岸素子・知識2年)

▶編集者として1年間『紫峰の風』に携わらせていただいた経験は、自分が普段の生活の中では知ることの出来ない多くの活動に触れることができる良い機会となりました。それだけでなくその他特集などにおいて自ら筆を執り調べること

で、筑波大学で生活する様々な人々のひたむきな努力や活躍を身近に感じられる貴重な体験が出来ました。私自身至らぬ部分も多くあったと思われませんが、紫峰の風を通して筑波大学内にある多種多様な営みを、多くの人に知っていただけるお手伝いができていましたら光栄です。広報部会の方々にも大変お世話になりました。ありがとうございました。(体育会広報局長 安齋彩季・創成2年)

▶私が紫峰の風の発行にあたって思ったことですが、広報の方はみんな仕事熱心でした。会議では単なる誤字だけでなく、日本語の言い回しなども訂正され、読み手を第一に考える姿は今でも印象によく残っています。普段何気なく読んでいたものもそうした細かい仕事によってなされているのだと実感しました。(文サ連広報局長 舟久保拓哉・情科2年)

▶秋も深まって一年の終わりというものを意識させられます。月並みですが一年というのは早いものです。自分が何をしたのかと振り返ってみても胸を張って言えるような大きな



ことをした記憶はありませんが、それでもほどほどに楽しくほどほどに充実した日々を過ごしたように思います。かといって今年に未練がないわけでは勿論なく、それを来年こそは、と例年のごとく先延ばしにしたいわけではありません。今年の想いは今年うちに。そんな風に残りの日々を過ごしたいと思います。

(芸サ連広報局長 戸口海人)

▶約一年間「紫峰の風」の編集に携わらせていただいたことで、普段関わることのない人と一つの広報誌を制作するという貴重な経験ができました。自分の周りの人間とは全く違った視点や性質を持っている方が多く、大変興味深くと感じました。制作を通して筑波大学を捉える新しい視点を作ることができたので、参加できたのは幸せなことだと思います。広報部会の皆様、大変お世話になりました。(全代会広報委員長 十川澄 資源2年)

▶様々な行事の取材や学生へのインタビューなどを通して改めて筑波大学の魅力を発見することができました。自分が担当した「筑波大生の夢」をテーマとした特集では同じ大学の仲間が大きな夢に向かって日々努力していることを知り、僕自身も進路についてじっくりと考える良い機会となりました。筑波大学でそれぞれの季節に多くの学生が活躍する様子を広報会議のメンバーとして一年間追うことができたことを嬉しく思います。(芸サ連広報局長 川村風太・生物3年)

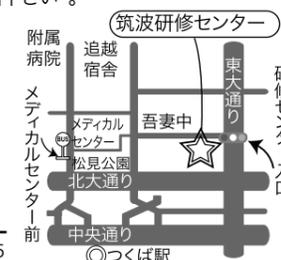
宿泊施設・館内食堂のご案内

紫峰会基金協力者と旧紫峰会会員の方は1泊200円割引します

筑波研修センター ・1泊3700円より(食事別)
・シングル145室・ツイン5室・和室5室
筑波大学同窓会「茗溪会」の関連法人「(一財)筑波学都資金財団」が運営する宿泊施設です。電話予約は7時から24時まで受け付けています。割引対象の方は予約受付の時にお申し出下さい。

館内食堂 こうせい

・朝食500円均一 ・定食750円より
バイキング形式、懇親会、パーティも承ります。内容、料金など気軽にご相談ください。(座席80名・立食可)



〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5
Tel 029-851-5152 Fax 029-851-8886
E-mail center@meikei.or.jp URL http://www.meikei.or.jp/~center/

紫峰の風 第10号 2018年12月発行

発行 事業開発推進室
編集 学生部学生生活課
学生広報会議
山岸素子・知識2年、舟久保拓哉・情科2年
川村風太・生物3年、戸口海人・比文2年
安齋彩季・創成2年、十川澄・資源2年
徳永光太郎・医学2年
広報部会
黒川真臣・生命環境3年、米山和文・数理物質2年
仲清峻・知識4年

タイトルロゴデザイン 塚本真理(芸術2016年度卒)
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
電話:029-853-5886
E-mail:gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp

学生プレゼン企画

〇つくば

今年度筑波大学では、学生の学生による学生のためのプレゼンテーション形式の企画が盛んに企画され実施されています。「〇つくば」と題して、〇の部分には学問分野を表す文字が入り、数人の登壇者が各々のテーマで熱く語る場です。哲学の哲つくば、言語学の言つくば、歴史学の歴つくば、物理の物つくば、そして数学の数つくばなど学年学類を超えてプレゼンを通して交流が行われているようです。今回それぞれの「〇つくば」を主催した方々にお話を伺いました！

てっ 哲つくば



哲つくば代表の片山さん

哲つくばの企画はいつ頃から考えていましたか？

—2017年の12月中旬頃から、学類の友人との間で哲学に関する何かをやりたいということで企画していました。実施は4月にして新入生に向けて哲学への興味を持ってもらいたいという意図もありましたし、哲学はすべての学問の根底にあるものだと考えているので、どの学類の方にも楽しんでもらえるようなことをしたいと思いました。また、哲学は難しそうだったりとつきにくいイメージがあったりすると自分たちも思っていたので、そういったイメージを少しでも変えられたらと。

良かったことや苦労した点などがありますか？

—周りの友人や先輩が協力的で、準備には苦労しましたが助けられました。苦労したことは教室を抑えることで、エリア支援室を頼りにして頑張りました。当日は、哲学に関わらず色々な学類の友人や、ほかにも沢山の人が来てくれました。第1回を4月に、第2回を6月にやりましたが、どちらも100人前後の人が参加してくれて、とてもよい刺激になりました。

参加者は100人前後ということでしたが、実際の雰囲気や工夫したことはありますか？

—第1回は発表者7人でしたが、第2回は本格的に20分ほど話す部と3分ほどの部に分けて合わせて20人ほどの人が発表してくれました。会場では、プロジェクターを2台使ってスライドの隣に「#哲つくば」のツイートを表示することでリアルタイムで様々な反応が得られるように工夫しました。このおかげで視聴者の一体感のようなものが生まれて、私自身も刺激を受けました。次回は対談形式を取り入れるなど、また別の工夫をしたいと考えています。

哲つくば代表 片山千波・人文2年
取材・記事：山岸素子・知識2年

れき 歴つくば

2018年度、筑波大学では、学生が主体となり、様々な学問分野の発表会が盛んに開催されています。その1つで、歴史を主題にした発表会が、歴つくばです。筑波大学内で、歴史好きの交流会を作りたいという企画が始まりです。春に第1回、夏に第2回を開催しました。両日とも、参加者全員で、歴史の面白さを共有でき、人文学類以外の他学類の参加者も多く、大盛況でした。このような発表会を開催できて、非常に嬉しいです。

(寄稿/歴つくば主催者
丸小野壮太・人文2年)

こと(げん) 言つくば

「言つくば」「げん」つくばか「こと」つくばか、読みも人によってまちまち。そんな言語学の「〇つくば」に「〇〇語はいいぞ」をキーワードとして、何人も筑波大学生が専攻や所属、学年の壁を越えて登壇しました。インターネット越しに留学中の学生の登壇もありました。運営の私も史学専攻でしたから、なかなか多様性に富んだ「〇つくば」であったと思います。これが今後の学生のプースターになれば幸いです。

(寄稿/言つくば 岩瀬牙衣・人文3年)

ぶつ 物つくば

物つくばは哲つくばや人文つくばを受けて、「理系でも〇つくばがしたい」と思ったことがきっかけでした。申請がギリギリになってしまい大学ではなく駅前 Bivi つくばのサテライトオフィスさんを利用させていただきました。不安要素ではあったものの、Twitterでの呼びかけや駅前という立地条件の良さもあり、飛び入りで学類長もお聞きになるほどの好評ぶりでした。

(寄稿/物つくばオーガナイザー(副代表)

石山隆光・応理2年)

すう 数つくば



数つくばプランナーの大崎さん

どうして企画をやると思ったのですか？

—哲つくばさんの企画を見て、数学でもやったら面白いんじゃないかと思い、周りの友人の勧めもあって数つくばを企画することにしました。夏休み前にやろうとしたためスケジュールは少しきつかったですが、とても刺激を受けることができました。また、数学に興味を持つ人同士で交流ができたという思いもありました。

数学はすごく歴史が長いので、簡単には理解できないものですが、少しでも興味を持ったら本を読むなどで数学に触れてみてほしいなと思います。

1年生の早い時期に企画していますが、大変だったことなどはありますか？

—教室などは T-ACT の力を借りたり、地理つくばさんの主催者さんにアドバイスを頂いたりして準備しました。ただ、登壇者を集めて宣伝をした期間がどうしても短くなってしまい、宣伝の大切さを感じました。7月中旬の暑い時期だったので大勢の人に涼みに来ていただきかったです。

実際にどんな発表がありましたか？

—登壇者は6人ほどで、こちらから時間制限を設けることはせず発表者に任せました。そのため1人あたり1時間くらい発表していました。内容としては、計算ミスがどのように起きるのかという分析などユニークなものが多かったです。専門的なものもありましたが、身近なものもあったので色んな人が楽しめたのではないかと思います。参加者も理系ばかりだったので今回は文系の人にも来てもらえるような企画にしたいです。

数つくばプランナー 大崎俊輔・情科1年
取材：舟久保拓哉・情科2年
記事：山岸素子・知識2年

今回の取材や寄稿を通して学生主体で知識を共有していこうという取り組みが思った以上に盛んに行われていることを知り、驚くと同時にそういった企画がなされるのは知識を深めたい人にとってもこれからやりたいことを模索している人にとってもとても良いことだと感じました。取材期間中も新たな「〇つくば」の企画が持ち上がっているというお話があり、とても楽しみです。今後も様々な形でより多くの人を巻き込んで積極的に交流が行われることで互いに刺激を与え合う場になると思います。取材や寄稿にご協力いただいた方々ありがとうございました。



哲つくばでの発表の様子

文化系サークル連合会活動紹介 ～文サ連をもっと知りたい～



朝茶事というイベントの様子

茶道同好会

私たちは年2回のお茶会、4回の茶事にむけて日々お稽古に励んでいます。夏期休業中には京都へ行き、裏千家資料館で茶道の歴史に触れ和菓子づくり体験などを行いました。茶道同好会の魅力は茶道だけでなく日本文化に触れることができることだと思います。茶事では炭点前や懐石、濃茶、続き薄点前からなる一連の茶事を約1日かけて行います。懐石料理は献立決めから試作、準備まで自分たちで行うためとても勉強になります。また着物の着付けは自分たちで行います。留学生も多く所属しており、お稽古中に英語が飛び交いにぎやかです。お茶の楽しさを皆さんに知っていただけるよう努力して参りますのでよろしくお願いいたします。

(寄稿/茶道同好会会長 木郎弥生・比文3年)



部員の作品

池坊華道部

私たち池坊華道部は現在14人で、2人の先生の指導の下で生け花を楽しんでいます。生け花とは花瓶にただ美しい花を「挿す」ことではありません。花だけでなく葉や木の実、時には樹木の枝なども含めて「生ける」ことです。切り落とした草花を器の中にもう一度「生かす」ことに心を傾け、自分の思いのままに表現できるよう探究を日々重ねております。

主な活動は週に1回のお稽古と、不定期で行う華展です。最近では活動の幅を広げております。例えば今年7月には初の夏の華展「盛夏」を行い、多くの人に楽しんでいただきました。

11月に開催された雙峰祭でも大会会館で華展を行いました。豊潤な秋を感じられる作品で皆様をお迎えできました。

(寄稿/池坊華道部会長 鈴木瑞穂・人文3年)



ゲーム制作の様子

AmusementCreators

ゲーム制作サークルAmusementCreatorsは毎週水曜日に定例ミーティングを開催している他、不定期に実施する「6 weeks project (6週間でゲーム作品を制作するイベント)」や「48h GameJam (48時間で集中的にミニゲーム等の小さな作品を制作するイベント)」などを通して活動しております。ゲーム制作の初心者から経験者まで幅広いメンバーが在籍しており、初心者でも安心してゲーム制作を進めていけるよう経験者が率先して初心者向けの講座などを用意したり、技術力のある経験者が中心となってゲーム制作の根幹を成すゲームエンジンを開発したりするなど、メンバーの技術力を更に向上させることを目標に、今後も活動していきたいと思っております。

(寄稿/AmusementCreators 根本晃輔・シス情2年)



本を読む会員とボードゲームで遊ぶ会員

SF研究会アルビレオ

SF研究会アルビレオは、SFやその周辺ジャンルの鑑賞、創作、批評などを行っているサークルです。年に5回ほど、会誌「Hotline」「Cygnets」を発行し、学園祭や同人誌即売会で頒布することが主な活動です。会誌には会員の書いた小説や評論を掲載しています。小説を書くための練習として、「テーマ創作」という活動も行っています。これは、適当なテーマを決め、そのテーマに沿った小説を書いてくるという活動です。アルビレオでは、小説以外にも映画や漫画など幅広いジャンルを活動の対象にしています。週1度のミーティングでは、小説を語ったり、映画を見たり、ゲームで遊んだりそれぞれの会員が思いのままに、自分の好きな事を探求するような活動を行っています。

(寄稿/SF研究会アルビレオ会長 石塚創太・地球3年)

芸術系サークル連合会活動紹介 ～芸サ連をもっと知りたい～



10月の秋東都大会の様子

舞踏研究会

私達舞踏研究会は、競技ダンスを踊り楽しむサークルです。競技ダンスとは社交ダンスをよりスポーツ寄りにしたもので、最近ではTBSの番組「金スマ」でのキンタロー。やロベスベアのダンス企画が有名でしょう。私達は大学から競技ダンスを始める人がほとんどで、みんな0から上級生にダンスを教わります。練習会は月、土曜日の週2回あります。秋からはダンスの大会もあり、舞研一丸となって団体成績上位を目指しています。練習会以外にも舞研では年2回の合宿や、冬のダンスパーティ、ハロウィンイベント、ダンス以外にも海やディズニーに行く等楽しいイベントが幾つもあります。大会では女性はドレス、男性は燕尾服を着るなど、通常では体験できないようなことが目白押しです。舞研ではTwitterを更新しているので気になった方は調べてみてはどうでしょうか。

(寄稿/舞踏研究会主将 中島脩平・応理3年)



ボールの練習風景

ジャグリングサークルSheep

ジャグリングサークルSheepです！ 私たちは1年生8人、2年生11人、3年生8人の計27人で活動しています。普段は週に3回から4回、3時間ほど楽しく練習をしております。主な活動内容は行事の際にパフォーマンスを発表することですが、依頼を受けた際はバルーンの配布、ジャグリング体験なども行なっております。パフォーマンスに利用する道具はボールなどのメジャーなものから皿などのマイナーなもの、さらにディアブロやデビルスティックのような聞きなれないものまで様々です。練習していて気になる事があれば先輩後輩関係なく意見を出し合い、より素敵なパフォーマンスができるように日々精進しております！ また、合宿に行ったりイベントを企画したりと仲良く活動しております。トレードマークの羊を見かけたら、是非声をかけてみてください！

(寄稿/ジャグリングサークルSheep 渉外 谷内美月・資源2年)



武蔵野市民文化会館でのリハーサルの様子

管弦楽団

年2回自主開催する定期演奏会では、毎回約800人の方に音楽を楽しんで頂いています。毎年8月には未就学児や小学生に音楽や楽器のおもしろさを伝える「はじめての音楽会」をつくら文化振興財団と共催し、子どもたちが演奏を聴くだけでなく、一緒に歌ったり楽器を体験したりする機会も提供しています。昨年度は当演奏会にて劇音楽「こわれた千の楽器」世界初演を果たしました。また依頼演奏にも幅広く対応しており、茨城県立特別支援学校や牛久市立牛久第一中学校での音楽鑑賞会への出演、つくば市内で開催される学会のレセプション演奏等を引き受けています。さらに、昨年4月につくばにてジュニアオーケストラが新設されたのを受け、当団がオーディションから練習や演奏会本番まで協力しています。様々な形態での演奏会は年間約50回のほり、地域の音楽文化の発展に貢献しています。

(寄稿/管弦楽団団長 長谷川輔・エシス3年)



8月、福岡でのコンサート直前練習の様子

男声合唱団メンネルコール

皆さんは男声合唱を聴いたことはありますか？ 力強く鳴り響くベースと繊細で軽やかなテノールのハーモニーは聴いていて思わず心を動かされます。私たち男声合唱団メンネルコールは聴く人の心を震わせる演奏を行い、男声合唱の魅力を多くの人に知ってもらうことを目標に活動しています。団員は少ないですが、個々人の声を活かした演奏ができるように日々練習を重ねています。今夏は福岡にて行われた四大学ジョイントコンサートに参加しました。全国各地から集まった男声合唱人と歌い、語り、飲み明かし、所属や出身、世代を超えた交流ができました。男声合唱は聴く側も歌う側も笑顔になれる、素晴らしい文化だと思います。ぜひ一度私たちの演奏を聴きにいらしてください。皆さんと男声合唱の楽しさを共有できる日を心待ちにしております。

(寄稿/男声合唱団メンネルコール広報係

八木陽帆・生命環境1年)

全学学類・専門学群代表者会議活動紹介 ～全代会をもっと知りたい～

つくば市長と筑波大学生との懇談会

9月27日、大会会館1階筑波デミにて「第6回つくば市長と筑波大学生との懇談会」が行われました。懇談会は二部構成にて行われました。第一部では、現職の五十嵐市長による講話と筑波大学を卒業されたつくば市の職員の方々からのコメントをいただきました。第二部では、第一部での講話の内容や学生の間で問題視されている事柄などをうけ、市長と筑波大学生との意見交換を行いました。意見交換の場では、筑波大学周辺の安全に関する施策やつくば市のまちづくりに関する話題が上がりました。また、交流タイムも設けられ、市長や市役所の職員と筑波大学生が話に花を咲かせました。(寄稿/全代会広報委員長 十川澄・資源2年)



つくば市長と筑波大生との懇談会の様子

教育環境委員会

<委員会紹介>

教育環境委員会はカリキュラムや大学内の教育に関わる施設、設備についての改善を立案し、全代会の会議を通じて要望する委員会です。現在は約10名の委員で活動を行っています。

<変遷>

筑波大学は新構想大学の一つであり、開学当初のカリキュラムには学生の実情と大きく乖離したものが多く、学生の声を大学へ伝達しその溝を埋めるために教育環境委員会の前身となる委員会が設立されました。そのため本来は授業アンケートを自主的に実施する他、英語教育や総合科目などの全学的なカリキュラムに関して大学と意見交換を行うなどの活動を中心に行ってきました。近年は授業評価アンケートが大学によって制度化され、学生の実態に沿ったカリキュラムが編成されるようになったこともあり、活動の主体は空調設備に関する調査や、他学類の授業を紹介する冊子の発行へと

移っていきました。

<活動紹介>

今年度は人員の減少もあり、より学生と大学の双方にとって有意義な課題に的を絞って活動することとし、小冊子の発行を完全に取りやめ、調査活動に関しても一部調査委員会へ委託しています。去る春学期には学生の教育環境に対する問題意識のあり方を探るべく、大規模なアンケートを実施しました。現在はこの結果を基にした具体的な改善案を協議している最中です。それと同時に、学生の中から現れた自主的な勉学の場を創造する潮流に対応して、そのような自主活動を後押しする策を模索し、現在も具体的な要望としての立案へ向けて調査を続けています。今後も学生の要望を大学へ実現可能な形にして届けることができるよう、一つでも多くの議案を作成し全代会へ提出することを目標に活動を続けていきます。

調査委員会

<委員会紹介>

調査委員会は学生や大学に関わる諸問題を抽出し、事実関係の調査を行う全代会の活動起点となる委員会です。現在は6名の委員で活動を行っています。

<変遷>

全代会は「学生の代表」という立場であるため、意見を大学に提出するために学生の声を絶えず聞き続けることが重要となります。その中核となっているのが調査委員会で、設立以来、アンケートや聞き込みなどのあらゆる手法で学生生活に潜む問題を抽出してきています。

現在は以前と比べ他委員会とより密に連携を取っており、細かな調査や問題提起を教育環境委員会、生活環境委員会に任せることもありますが、理念や活動方針は初期のものから変わっておりません。

<活動紹介>

昨年度末、学生側から積極的に声を上げられるよう「調査依頼フォーム」を設置し、今年度は試運転や知名度の上昇に務めてまいりました。具体的には大学の各所にこのWEBフォームにアクセスできるQRコードを載せたポスターを掲示し、実際に送られてきた依頼に試行錯誤しながら対処しています。

その他、通常の業務として各委員が学生生活の中で気づいたことから問題提起、調査を行い、教育環境委員会などの然るべき委員会に議案の作成を依頼するという活動も行っております。

今年度は人数が少ないため、実際の問題解決よりも調査委員会の知名度アップや効果的な調査手法の確立など、長い目で見て委員会の力となる事に重きを置いて活動を進めてきました。今後も学生の立場に寄り添い、正確な意見抽出ができるよう尽力いたします。

大学の風景



第一エリア前バス停付近で小さい秋見つけた

紫峰会基金より

平成29年度 紫峰会基金援助金支給報告

平成30年7月5日に開催された紫峰会基金運営委員会にて、平成29年度の紫峰会基金援助金の支給について報告されました。概要は次のとおりです。

援助金項目	金額(円)
課外教育行事援助金	2,958,000
課外活動団体援助金	20,500,000
特別援助金	1,078,889
記念品特別支給	72,083
組織助成金	0
育成指導補助給付	18,160
合計	24,627,132

学生の一週間

ここでは、学生2名の一週間のスケジュールを例に、筑波大生が実際にどのような生活を送っているのかを紹介します。今回は秋学期Aモジュール(10月～11月)です。

3年生 Kさん

授業内容に関しては3年生の秋というのもあり論文を読んだり実験をしたりと、専門性の高い内容が多くなっています。一方で教職に関する科目が平日や休日に入っていたりするので空きコマも多くはないです。それでも興味のある授業ばかりなので充実していると感じます。コーヒーを淹れて飲んだり、外に飲みに行くことが最近のブームなので合間を見つけてはコーヒーを飲んでいきます。

	月	火	水	木	金	土	日
6	睡眠	睡眠	起床	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7	睡眠	起床	論文紹介の準備	起床	起床	睡眠	起床
8	起床	コーヒー		コーヒー			集中授業
9	TVを観る&ゴミ出し	授業	授業	授業	授業	起床	集中授業
10	授業				掃除・洗濯		
11	授業	授業	授業	授業	授業	掃除・洗濯	集中授業
12	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	
13	コーヒー	授業	授業	授業	友人とコーヒーを飲みに行く	布団を干す	集中授業
14	実験	実験	論文紹介	論文の予習	課題	出かけたり図書館で課題をしったりする	
15			買い物など			買い物	
16	サークル練習	芸サ連会議	サークル練習	論文を読み合う	文サ館詰め	料理	買い物
17						夕食	料理
18	サークル練習	芸サ連会議	サークル練習	夕食	友人と食事	夕食	夕食
19	サークル練習	芸サ連会議	サークル練習	夕食	友人と食事	夕食	夕食
20	サークルでご飯	芸サ連会議	サークルでご飯	勉強	自宅友人と映画を観る	映画を観る	実験のレポート等
21	サークルでご飯	芸サ連会議	サークルでご飯	勉強	自宅友人と映画を観る	映画を観る	実験のレポート等
22	入浴等	論文紹介の準備	入浴等	入浴等	入浴等	入浴等	入浴等
23	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
24	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
1	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
2	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
3	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠

2年生 Tさん

大体起きる一時間前から目覚ましをかけ始めます。趣味の時間は漫画を読むかビデオゲームをしていることが多いです。休憩の時間にはボーっと何かを考えていることが多いです。趣味の時間にもそういうときがありますね。学生には色々と思案する時間が必要なのです。

	月	火	水	木	金	土	日
6	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7	睡眠	睡眠	睡眠	起床	起床	起床	睡眠
8	睡眠	睡眠	睡眠	朝食	朝食	朝食・録画	睡眠
9	起床	起床	起床	授業	授業	サークル	起床
10	朝食・ニュース	朝食・ニュース	朝食・ニュース	授業	授業		朝食・録画
11	趣味	趣味	昼食	昼休み	昼食	昼食	昼食
12	昼食	昼食	昼食	昼休み	昼食	休憩	休憩
13	授業	授業	授業	授業	課題	趣味	趣味
14	授業	授業	授業	授業	課題	趣味	趣味
15	授業	授業	授業	授業	課題	趣味	趣味
16	授業	授業	課題	授業	授業	趣味	趣味
17	授業	授業	授業	課題	授業	趣味	趣味
18	授業	授業	授業	課題	授業	趣味	趣味
19	サークル	サークル	バイト	バイト	サークル	バイト	サークル
20	サークル	サークル	バイト	バイト	サークル	バイト	サークル
21	夕飯	夕飯	夕飯	夕飯	夕飯	夕飯	夕飯
22	入浴等	入浴等	入浴等	入浴等	休憩	夕飯	休憩
23	趣味	趣味	入浴等	入浴等	入浴等	入浴等	入浴等
24	趣味	趣味	休憩	休憩	休憩	趣味	趣味
1	趣味	趣味	休憩	休憩	休憩	趣味	趣味
2	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
3	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠

体育会活動紹介 ～体育会をもっと知りたい～



2018年関東大学ラグビー対抗戦

ラグビー部

私たち筑波大学ラグビー部は関東大学ラグビー対抗戦Aグループに所属しており、大学日本一を決める大学選手権では国立大学として最多出場をしています。部員は、推薦入試だけではなく一般入試で入部した者や浪人生、体育だけでなく様々な学群に所属する者など、背景の異なる学生が集まり構成されています。また、部では自律の精神を掲げ、部専用の寮がない中、自身を律して生活をしています。さらに、部の運営に各人が責任を持って取り組むために委員会制度を設け、それぞれが委員会に所属し、部全体の運営や広報、選手の体づくり、ゲーム分析、練習環境の整備などを行っています。

今シーズンは主将・大西訓平(体専4年)、副将・前田土芽(体専4年)のもと新たに「Grit～団結・情熱・追及～」というスローガンを掲げ、チーム目標である日本一に向けて、チーム全員でやりきる集団を目指して活動しています。

(寄稿/ラグビー部代表責任者 伊藤和・看護3年)



練習風景

男子ハンドボール部

今年度、男子ハンドボール部は2月にはハンガリー遠征を実施し、ハンドボールの本場で、ハンガリーリーグのチームとのトレーニングマッチの実施や欧州最高峰のプレーを観戦しました。その後、新たに加わった新入生とともに、春季リーグでの優勝を目指しましたが、惜しくも2位となりました。春季リーグ後は小学生から高校生までの指導などを行い、ハンドボールの普及面にも力を注ぎました。8月より、チームは秋季リーグとインカレに向けて再始動し、春季リーグからのチーム全体の成長と課題の克服に向けてトレーニングを重ねてまいりました。その結果、秋季リーグでは優勝することができました。今後も、チーム力向上のため精進してまいります。

(寄稿/男子ハンドボール部副務 加藤亮介・工シス2年)



2018年関東大学バドミントン秋季リーグ戦

バドミントン部

私達バドミントン部は、全日本学生バドミントン選手権大会、さらには全日本総合選手権大会、世界レベルの大会での活躍を目標に活動しています。今年度は多くの皆様のご支援を受け全日本学生で女子団体5連覇などの成績を収めることができました。大学の練習では、技術練習に加えて、高めたいパフォーマンスに応じた科学的トレーニングの方法や、ゲーム分析を取り入れて練習を行っています。また、茨城国体に向けた小・中学生対象の強化練習会、香港大学とのインターフロー、台湾大学との交流など国内外で様々な交流連携を行っています。総会の開催、学生組織、教職員組織、監督組織、メディカル組織、トレーナー委員会など、部の組織マネジメントや知の結集にも力を注いでいます。人間としての研鑽を積み重ねて、筑波大学から新たなムーブメントを発信して、日本そして世界のバドミントンを変えるべく活動を展開しています。

(寄稿/バドミントン部主務 関口諒・体専3年)



2017年クラブ選手権

バスケットボール同好会

私たちバスケットボール同好会は、毎週水・土曜日は中央体育館、木曜日は第四体育館で練習しています。試合形式での練習を主にし、年2回開催されているバスケットボールサークル間での大会や、市や県での大会、最近では民間企業によって開催される「MUSH UP」などの大会を見据えて、日々研鑽しています。また、私たちは共にバスケットボールをすることを目的として集まっていますが、様々な学群学類からの参加があるという点を生かし、バスケットボールをすることだけに留まらない、幅広く、多様な関係性の形成も望めると考えています。今後私たちは現在よりたくさんの外部大会や他校との交流戦などの参加や開催をし、より多くのバスケットボール経験を積んでいくとともに広い関係性を築き、メンバーの大学生活がさらに豊かになるような団体を目指していきたいと考えていますので、応援よろしく願います。(寄稿/バスケットボール同好会主務 近藤達哉・社会3年)



東医体に向けた練習風景

医学卓球部

医学卓球部の総部員数は40人弱で、他学類の部員も所属しています。正規練習は火木土です。大学生になってから卓球を始めた人から小中高卓球をやっていた人まで卓球の実力は様々であるため、練習では課題を自分で考えて取り組み、部員同士で教えあっています。その他、正規練習後に部員同士でご飯に行ったり、部員の誕生日を祝ったりと、部員同士の結束を高めるイベントを定期的に行っています。私たちは春季関東医科学学生卓球大会・東日本医科学学生総合体育大会(東医体)・秋季関東医科学学生卓球大会・東日本医歯薬学生卓球大会の4つの大きな大会に出場しています。ここ最近の実績では、男子が平成28、29年度 東医体準優勝 関東医学リーグ優勝(春季秋季) 女子が平成29年度 東医体ベスト8などの成績を残しています。

(寄稿/医学卓球部主将 真野有揮・医学3年)



ナイスショット

医学ゴルフ部

普段の練習では、牛久市にある筑波ジャンボリーゴルフという練習場で月水金の週3回練習を行っております。大学からゴルフを始める人がほとんどなので、先輩から後輩へ教えることを意識しております。また、レッスンプロによる指導も週1で受けることも可能です。

年に大きな大会が3回あります。春と秋に日本医科ゴルフ連盟のリーグ戦、夏に東日本医科学学生総合体育大会(通称:東医体)があります。本年は、リーグ戦で男子団体が総合優勝を果たしました。東医体でも男子団体は優勝し、女子団体も3位という成績を残しました。本年の成績が来年以降も継続、成長していくためにより良い部活づくりを行ってまいります。

(寄稿/医学ゴルフ部主将 中山碩人・医学3年)

体育会夏季幹部研修会

毎年上半期の体育会執行委員会の活動を振り返る夏季幹部研修会(以下、夏季幹研)。自身の体育会への働きかけを見直し下半期へ生かす機会であり、夏季休業を利用して行っています。

そんな今年の夏季幹研を行うに際し、『日本体育大学学友会総務部(以下、日体大総務部)』さんから合同研修会の提案をいただき、「合同夏季幹部研修会」を行うに至りました。お互いを知り各々の組織を少しでもより良いものにしたいという意図から、これまでにない研修会を開くことになりました。私たち執行委員会としても、同じ日本のスポーツを牽引する存在の日本体育大学さんが、どのような事業を行なっているのかを知り、今後の体育会の発展へ繋げようと考えました。

午前には、スライドや動画を用いながら、お互いの活動内容をプレゼンテーションしました。深く印象に残っているのは、日体大総務部さんが企画して運営する、「クリーン大作戦」という大掃除で

す。普段使っている公道や大学近辺を学友会の所属団体が感謝を込めて清掃するという事業です。清掃という形での社会貢献にもなることから、当組織でも同様の企画を考えたいです。

午後からは、学内行事シミュレーションという両校にない学内行事を企画し、グループ毎に討議するという取り組みを行いました。私たちが持っていない意見やクリエイティブなアイデアを共有でき、お互い刺激と学びの多い時間になりました。

お互いの組織をより良くしたいという想いで行った合同夏季幹部研修会は、実りある大変有意義なものとなりました。日体大総務部さんも私たちと同じ悩みや想いを抱いて活動していることを知ることができました。この経験を良かった、で終わりにしないために、どうすれば組織に還元できるか考え、仲間と最善の策を熟考し行動に移したいです。

(寄稿/体育会執行委員会委員長 神田敬邦・体専3年)



合同夏季幹部研修会の様子



日本体育大学総務部と討議する神田委員長